エコアクション21

環境経営レポート

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号0006990

活動期間	2023年１０月１日～2024年９月３０日
作成日	2024年12月26日
改正日	2025年3月12日

澤組株式会社

豊田市大沼町大官屋敷９５番地２
TEL　0565-90-2003
FAX　0565-90-2929

☆目次

１　・　組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）

２　・　対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

３　・　環境経営方針

４　・　環境経営目標

５　・　環境経営計画

６　・　環境経営計画に基づき実施した取組内容

７　・　環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

7-1・　次年度の環境経営目標及び環境経営計画

８　・　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

９　・　代表者による全体評価と見直し・指示

とよた SDGs パートナー

１.組織の概要(事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等)

１ 事業所及び代表者

澤組株式会社

代表取締役　　澤田 文雄

２ 所在地

【本社】

〒444-3242

豊田市大沼町大官屋敷９５番地２

TEL　0565-90-2003

FAX　0565-90-2929

http：//www.sawagumi.co.jp

【倉庫】

〒444-3242　　豊田市大沼町猫洞

【資材置き場】

〒444-3252　　豊田市神殿町置免

３ 環境管理責任者

取締役　酒井 保彦

E-mail：yasuhiko@sawagumi.co.jp

４ 事業の内容

建設業（土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業、建築工事業、管工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業造園工事業）

≪建設業許可≫

◇特定建設業許可　　愛知県知事許可(特-６）第５１８３号

許可年月日：令和 6年 5月 27日

許可業種　：　土木、とび・土工、石、舗装、水道施設、解体工事業

◇一般建設業許可　　愛知県知事許可(般-６）第５１８３号

許可年月日：令和 6年 5月 27日

許可業種　：　建築、管、鋼構造物、しゅんせつ、塗装、造園工事業

≪産業廃棄物収集運搬≫

愛知県　　第０２３００１２６３９３号

※自らが行う工事において発生する産業廃棄物のみを扱います。

５ 事業の規模

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
従業員（人）	19	23	22	19	20
売上高（百万円）	454	372	529	447	299
床面積（㎡）	123,503	123,503	123,503	123,503	123,503

６ 資本金　　２０百万円

７ 設　　立　　昭和２５年５月

８ 認証・登録の対象範囲

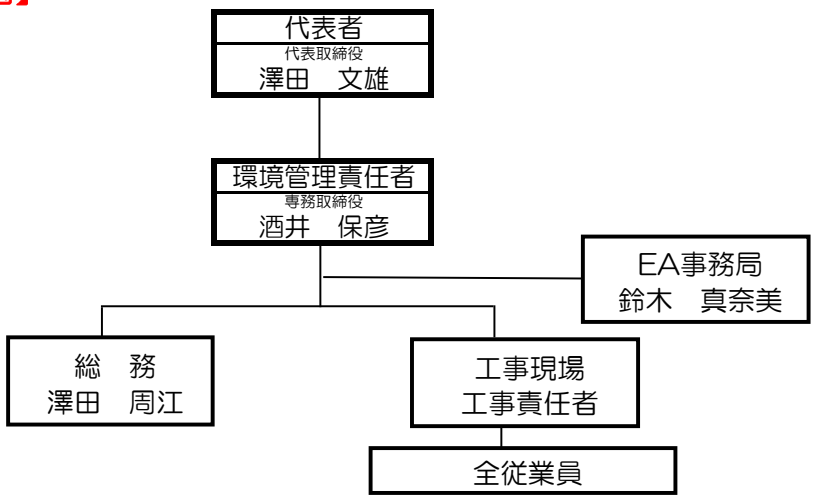
組織：　澤組株式会社

活動：　建設業　（土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業
水道施設工事業、解体工事業、建築工事業、管工事業
鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、造園工事業）

2.対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

対　象　範　囲　　：澤組株式会社
レポート対象期間　：2023年10月1日～2024年９月30日
レポート発行日　　：2024年12月26日

【実施体制図】



役割	担当者	責任・権限
代表者	澤田文雄	・環境方針の策定・見直し ・環境目標及び環境活動の承認 ・環境運営システムの見直し及び評価、指示 ・必要な設備、費用等の経営資源の準備 ・環境レポートの承認 ・環境管理責任者の任命
環境管理責任者	酒井保彦	・環境経営システムの構築、運用の責任者と権限 ・環境活動レポートの確認 ・環境活動の監視 ・構築と運用状況を代表者に報告
事務局	鈴木真奈美	・環境管理責任者の補佐 ・社員に対する環境意識の向上教育 ・書類作成(廃棄物、電気、水道、化石燃料の記録・集計)
総務	澤田周江	・文書及び記録の管理と保管
各工事責任者		・各現場における環境方針の周知 ・各現場に関連する環境活動計画の実施及び報告
全従業員		・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3.環境経営方針

【基本理念】

当社は、建設業の事業活動において環境に影響する業務があること、
さらに地球環境の保全と継承の重要性も認識し、環境経営システムを
構築し、運用することにより地球環境にやさしい企業経営を自主的・
積極的に推進します。

【行動指針】

１・ 建設事業を通じて、環境経営システムを構築し、環境目標、環境活動計画を定め継続的な改善に努めます。

２・ 環境関連法規制及び、その他の環境関連要求事項を遵守します。

３・ 環境負荷低減のために、次の事項に対して取り組みます。

① 省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出量を削減します。
② 一般廃棄物、産業廃棄物(産業副産物）の発生抑制と資源の有効利用を進めます。
③ 節水に努め、水使用量を削減します。
④ グリーン購入を推進します。
⑤ 地域での環境活動へ積極的に参加します。
⑥ 環境に配慮した設計・工法を推進します。

４・ 全従業員に環境教育を行うと共に、本方針を周知させます。

５・ 環境活動レポートを公表し、環境コミュニケーションに努めます。

制定日　：　2010年 4月 1日
改正日　：　2024年12月26日

澤 組 株 式 会 社
代表取締役 澤 田 文 雄

4.環境経営目標

基準：過去5年間の実績値をベースに定めた
（2019年～2023年度の実績値の平均値など）

環境方針		項目	単位	基準	2024年度		2025年度		2026年度	
					（2023.10～2024.9）		（2024.10～2025.9）		（2025.10～2026.9）	
					目標値	削減・増加率	目標値	削減・増加率	目標値	削減・増加率
二酸化炭素排出量	事務所	購入電力	kwh	22,000	21,890	-0.5%	21,780	-1.0%	21,670	-1.5%
		ｶﾞｿﾘﾝ	ﾘｯﾄﾙ	3,000	2,985	-0.5%	2,970	-1.0%	2,955	-1.5%
	現場	ｶﾞｿﾘﾝ	ﾘｯﾄﾙ	8,800	8,756	-0.5%	8,712	-1.0%	8,668	-1.5%
		軽油	ﾘｯﾄﾙ	47,000	46,765	-0.5%	46,530	-1.0%	46,295	-1.5%
	全体	二酸化炭素排出量	kg-Co2	165,000	164,175	-0.5%	163,350	-1.0%	162,525	-1.5%
廃棄物量の削減	事務所	一般廃棄物排出量	kg	90	89.55	-0.5%	89.1	-1.0%	88.65	-1.5%
	現場※1	産業廃棄物排出量	t	700	696.5	-0.5%	693.0	-1.0%	689.5	-1.5%
水資源使用量の削減	事務所	使用量	m3	380	378.1	-0.5%	376.2	-1.0%	374.3	-1.5%
環境に配慮した設計・工法	現場	低騒音機械の使用他　（注1）	件数	環境に配慮した施工を全件で行う	全件		全件		全件	
社会貢献活動の推進	全体	交通安全立哨活動	4回/年	4回/年	4回/年		4回/年		4回/年	

（注1. 再生材の使用、低騒音・低振動機械の使用、施工現場周辺の清掃）

*二酸化炭素排出係数は0.459kg-Co2/kwh（2022年度：中部電力ミライズ）を使用する。

*年間期間目標は当社決算期に併せる　10月～9月

※1 建設廃棄物の分別及び再資源化の推進等含む。

5.環境経営計画

☆取り組み期間　2023年10月1日～2024年9月30日

環境方針	環境目標	活動内容	担当部門
1.二酸化炭素の排出量の削減	電力の使用量削減	①エアコン温度（冷房28度・暖房20度）に設定し温度管理の徹底に努める ・空調機フィルターの清掃（月1回） ②不要時の照明の消灯を徹底 ③不使用時や帰宅時はパソコンの電源をOFFにする	事務所
	ガソリン使用量の削減	①ガソリンの使用量の削減に努める ・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進 ・冷暖房控えめ運転 ・車両入替時低燃費車導入の検討	全部署 社長
	軽油の使用量の削減	①軽油の使用量の削減に努める ・過積載の禁止、不要なものは車両から卸す ・車両重機のアイドリングストップ	現場
2.廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量削減	①事務所でのごみの分別回収に努める ②紙はリサイクル施設に持ち込む ③コピー用紙の有効利用(裏面使用・両面コピー)	事務所
	産業廃棄物排出量削減	①マニフェストの適正管理 ②廃棄物の分別の徹底 ③資源化促進	現場
3.水資源使用量の削減	使用水量の削減	①節水の徹底 ②漏水点検をする	全部署
4.環境に配慮した設計工法の推進	低騒音機の使用 環境配慮工事の推進	①環境適合型機械の使用 ②法面緑化工法の選択 ③再生材の使用 ④施工現場周辺の清掃	現場
5.社会貢献活動の推進	交通安全立哨活動 事務所周辺の清掃活動	①交通安全パートナーシップの活動 ②愛・道路パートナーシップ事業等の実施	全部署

6.環境経営計画に基づき実施した取組内容

基準：過去5年間の実績値をベースに定めた

環境方針		項目	単位	基準	2024年度		実績			評価
					（2023.10～2024.9）		（2023.10～2024.9）			
					目標値	削減・増加率	2024年度	増減率	達成率	
二酸化炭素排出量	事務所	購入電力	kwh	22,000	21,890	-0.5%	21,764	-1.1%	100.6%	○
		ｶﾞｿﾘﾝ	ﾘｯﾄﾙ	3,000	2,985	-0.5%	3,063	2.1%	97.4%	×
	現場	ｶﾞｿﾘﾝ	ﾘｯﾄﾙ	8,800	8,756	-0.5%	8,578	-2.5%	102.1%	○
		軽油	ﾘｯﾄﾙ	47,000	46,765	-0.5%	46,337	-1.4%	100.9%	○
	全体	二酸化炭素排出量	kg-Co2	165,000	164,175	-0.5%	156,546	-5.1%	104.9%	○
廃棄物量の削減	事務所	一般廃棄物排出量	kg	90	89.55	-0.5%	72.1	-19.9%	124.2%	○
	現場	産業廃棄物排出量	t	700	696.5	-0.5%	604	-13.8%	115.4%	○
水資源使用量の削減	事務所	使用量	m3	380	378.1	-0.5%	303	-20.3%	124.8%	○
環境に配慮した設計・工法	現場	低騒音機械の使用他　（注1）	件数	環境に配慮した施工を全件で行う	全件		全件		100.0%	○
社会貢献活動の推進	全体	交通安全立哨活動	4回/年	4回/年	4回/年		4回/年		100.0%	○

（注1. 再生材の使用、低騒音・低振動機械の使用、施工現場周辺の清掃）

増加率は実績/基準年

達成率は目標値/実績

（評価）○目標達成できた。　△:削減できたが目標に達していない。　×：削減達成できていない。

*二酸化炭素排出係数は0.459kg-Co2/kwh（2022年度：中部電力ミライズ）を使用する。

*年間期間目標は当社決算期（10月～9月）に併せる。

7.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

☆取り組み期間　2023年10月1日～2024年9月30日

環境方針	環境目標	活動内容	評価	取組評価	チェックシート
1.二酸化炭素の排出量の削減	電力の使用量削減	①エアコン温度（冷房28度・暖房20度）に設定し温度管理の徹底に努める ・空調機フィルターの清掃（年2回） ②不要時の照明の消灯を徹底 ③不使用時や帰宅時はパソコンの電源をOFFにする	・節電等の取り組みについては良好だった。 ・今後もより一層節電を心掛け、取り組んでいく。	○	有
	ガソリン使用量の削減	①ガソリンの使用量の削減に努める ・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進 ・冷暖房控え運転 ・車両入替時低燃費車導入の検討	・アイドリングストップの徹底、エコドライブなど呼びかけをし、積極的に燃料使用量の削減に取り組んだ。 ・事務所での使用が増えてしまった。今後はより一層節電を心掛け、取り組んでいく。	△	有
	軽油の使用量の削減	①軽油の使用量の削減に努める ・過積載の禁止、不要なものは降ろす ・車両重機のアイドリングストップ	・重機を使用する工事が今期は少なかったことで使用量が減少した部分もあると思う。 ・今後もより一層節電を心掛け、取り組んでいく。	○	有
2.廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量削減 紙の使用量の削減	①事務所でのごみの分別回収に努める ②紙はリサイクル施設に持ち込む ③コピー用紙の有効利用 （裏面使用・両面コピー）	・コピー用紙の裏刷り、リサイクルに持ち込むなど分別を徹底し削減することができた。 ・今後もミスプリント等をなくし、リサイクルに持ち込むなど廃棄物削減を心掛けていく。	○	有
	産業廃棄物排出量削減	①マニフェストの適正管理 ②廃棄物の分別の徹底 ③資源化促進	・工事内容により、廃棄物は増減するがﾏﾆﾌｪｽﾄ管理による適正な処理を継続していく。 ・今後も削減、資源化に取り組んでいく。	○	有
3.水資源使用量の削減	水使用量の削減	①節水の徹底 ②漏水点検をする	・節水の徹底を呼び掛け目標を達成することができた ・今後もﾒｰﾀｰの管理や節水を徹底していく。	○	有
4.環境に配慮した設計工法の推進	低騒音機の使用 環境配慮工事の推進	①環境適合型機械の使用 ②法面緑化工法等の提案 ③再生材の使用 ④施工現場周辺の清掃	・工事現場では、低騒音重機を最優先で使用した。 ・今後も継続して取り組んでいく。	○	―
5.社会貢献活動の推進	交通安全立哨活動 事務所周辺の清掃活動	①交通安全パートナーシップの活動 ②愛・道路パートナーシップ事業等の実施	・交通安全立哨活動をすることで地域の方々とのふれあいができ、交通安全への意識も高まった。 ・現場付近　事務所周辺の清掃活動草刈など を実施した。 引き続き地域に密着した活動を続けていきたい。	○	―

7-1.次年度の環境経営目標及び環境経営計画

☆取り組み期間　2024年10月1日～2025年9月30日

環境方針	環境目標	活動内容	管理場所	担当者
1.二酸化炭素の排出量の削減	電力の使用量削減	①エアコン温度（冷房28度・暖房20度）に設定し温度管理の徹底に努める ・空調機フィルターの清掃（月１回） ②不要時の照明の消灯を徹底 ③不使用時や帰宅時はパソコンの電源をOFFにする	事務所（点検表）	環境管理責任者
	ガソリン使用量の削減	①ガソリンの使用量の削減に努める ・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進 ・冷暖房控えめ運転 ・車両入替時低燃費車導入の検討	事務所（点検表） 事務所	環境管理責任者 社長
	軽油の使用量の削減	①軽油の使用量の削減に努める ・過積載の禁止、不要なものは車両から卸す ・車両重機のアイドリングストップ	現場（点検表）	環境管理責任者
2.廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量削減 紙の使用量の削減	①事務所でのごみの分別回収に努める ②紙はリサイクル施設に持ち込む ③コピー用紙の有効利用(裏面使用・両面コピー)	事務所（点検表）	環境管理責任者
	産業廃棄物排出量削減	①マニフェストの適正管理 ②廃棄物の分別の徹底 ③資源化促進	現場(マニフェスト)	環境管理責任者
3.水資源使用量の削減	水使用量の削減	①節水の徹底 ②漏水点検をする	事務所（点検表）	環境管理責任者
4.環境に配慮した設計工法の推進	低騒音機の使用 環境配慮工事の推進	①環境適合型機械の使用 ②法面緑化工法の選択 ③再生材の使用 ④施工現場周辺の清掃	現場	現場監督
5.社会貢献活動の推進	交通安全立哨活動 事務所周辺の清掃活動	①交通安全パートナーシップの活動 ②愛・道路パートナーシップ事業等の実施	事務所・現場	全従業員
運用手順・運用基準 ・環境管理責任者は、作成及び定期的評価を行う ・代表者(社長）は承認及び定期的評価と指示を行う ・環境方針・環境目標は毎年見直しを図ること。			活動計画実施状況・評価	環境管理責任者 社長

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

遵守確認日	2024年12月26日
遵守確認者	環境管理責任者

（１）当社の環境関連規則等の遵守状況確認の結果、違反はありませんでした。

（２）過去3年間、関係機関等からの違反の指摘や利害関係からの違反・訴訟はありませんでした。

関連法律	当社の主要な対応	遵守確認
廃棄物処理法	・一般廃棄物の委託契約、産業廃棄物の委託契約、ﾏﾆﾌｪｽﾄ管理	○
豊田市産業廃棄物の適正な処理の促進等に関する条例	・廃棄物処理施設の現地確認、廃棄物管理票交付状況報告	○
	・マニフェストによる適正な処理及び管理・適切分別	○
愛知県民の生活環境の保全等に関する条例	・エコドライブ運転の率先	○
	・アイドリングストップ	○
建設リサイクル法	・分別解体の励行と再資源化	○
騒音規制法	・低騒音・低振動型重機、機械の使用	○
	・該当する工事の届出、規制値（85dB以下）の遵守	○
振動規制法	・低騒音・低振動型重機、機械の使用	○
	・該当する工事の届出、規制値（75dB以下）の遵守	○
グリーン購入法	・グリーン購入法適応物品の率先購入	○
浄化槽法	・浄化槽の保守点検・法令点検実施	○
フロン排出抑制法	・３か月に一度の点検	○
	・業務用エアコン廃棄はフロン回収業者に委託	○
オフロード法	・基準に適合した特殊自動車の使用	○
土壌汚染対処法	・オイル漏れは緊急対策手順に準拠	○
水質汚濁防止法	・土木工事に伴う濁水流出防止	○
大気汚染防止法	・建設解体改修工事における石綿事前調査の実施	○

9.代表者による全体の評価と見直し・指示

「全体見直しに必要な情報を収集・環境管理責任者に報告を求めシステムの有効性、取組の適正性を評価する。」

環境管理責任者による見直しに必要なコメント

1. 環境目標と達成状況（達成した場合は設定に問題がなかったか、次年度の目標設定について、未達成の場合は、原因と次年度の目標や対応策について記載）

・受注する工事やその内容により大きく左右されるものがあるため、今回は目標達成できていたものについても、環境への影響や取り組みの重要性を全従業員が自覚し、自主的かつ積極的に環境活動へ参加するように今後も教育を行っていきたい。
・基準値を実態に合った適切な目標値を策定したことにより、目標達成率が上がっている。目標が達成できたことで、従業員の意識も更に高まっているように感じる。今後も全従業員で積極的に取り組んでいきたい。

2. 環境活動計画の実施状況(取組に問題がなかったか、次年度の取組について記載）

・環境レポートを全従業員へ配布し、環境方針を周知させる。今後もより一層意識を高め取り組む。

3. 環境関連法規の見直し・遵守状況

・関係機関からの指摘もなく法令順守がなされた。

4. 審査結果情報(初回・登録時は対象外）

5. 内部外部からの苦情・称賛等の受付結果

苦情
なし
称賛
令和6年度豊田市優良業者表彰　　土木一式

6. 問題点の是正予防報告書

特になし

7. 利害関係者等の環境情報

地域との交流を持ち、環境美化等に進んで参加、協力をしていきたい。

代表者による変更の必要性の判断

代表者　　澤田　文雄
記載日：2024.12.26

1.	環境経営方針の変更	□有 ・ ■無	
2.	環境経営目標の変更	■有 ・ □無	基準の変更
3.	環境経営計画の変更	□有 ・ ■無	
4.	環境経営システムの変更	□有 ・ ■無	
5.	実施体制の変更	□有 ・ ■無	
6.	その他変更の必要な項目等	□有 ・ ■無	

変更の理由（詳細にわたる場合は別紙添付）

その年の工事件数や内容により数字が変わるため、基準年を定めず過去5年間の平均を見て基準を定めることとする。

環境管理責任者への指示事項

全従業員へ環境教育を行い、周知を図ること。